**大阪府日本万国博覧会記念公園運営審議会魅力創出部会意見交換会記録《要旨》**

○日時　　平成２６年１２月１７日（水）　１４：５５～１６：３５

○場所　　大阪府日本万国博覧会記念公園事務所　第１応接室

（吹田市千里万博公園１－１　万博記念ビル４階）

○議題　　将来ビジョンについて

○出席委員等　　更家部会長、中谷委員（５０音順）

小泉専門委員、橋爪専門委員（５０音順）

○事務局　　府民文化部理事　ほか

＜府民文化部理事挨拶＞

**更家部会長**

先ほど、司会から部会を開催しますという内容のご発言があったが、本日の部会は、　　平田委員が急遽ご欠席となった。

本審議会の規則では、専門委員の皆さまを除く２分の１以上の委員が出席しなければ、会議を開くことができない旨、規定されている。本部会は、私をはじめ５名の委員と、　　２名の専門委員で構成されている。

本日は、２名の専門委員の皆さまにはご出席いただいているが、平田委員のご欠席に　より、委員は私と中谷委員の２名となった。会議を開くための委員の定足数は３名なので、規則上、本日の部会は開催できないことになる。

しかし、専門委員の小泉先生、橋爪先生もお見えであり、また、年明けの次回審議会　　までに新たに部会を開催することは日程的にも非常に困難かと考えることから、私と　　しては、実質的な話として、皆さまと議論させていただきたい。

また、ご欠席の委員の皆さまに対しては、事務局から丁寧に資料等の説明を行って　　すり合わせし、取りまとめをさせていただきたいと考えている。

本日は正式な部会ではなく、意見交換会の形で議論させていただきたい。皆さま、　　　よろしいでしょうか。

（異議なし）

ありがとうございます。

なお、前回の審議会で、将来ビジョンは本編と資料編という形で取りまとめることと　されたが、本編が、即、経緯から入ることに鑑みて、前段にこの将来ビジョンの根本的な考え方やそれに対するまとめを「はじめに」という形で掲載したいというご意見があった。「資料２」とは別ペーパーで案文をご用意している。

それでは、事務局から配布資料の説明をお願いする。

＜事務局より「資料２」説明＞

**更家部会長**

大阪万博には、６，４００万人以上もの来場者があった。その跡地に開設された公園　　なのに、世界に誇れる一流のアートや、万博公園からの発信性を高めるという、目線の　　高いところ、その辺りを目標においてやろうという点が、当初の議論から消えつつある　ように思える。

例えば、３８ページ。「文化と美を体験・創造し発信する公園」とされている。　　　　　タイトルを変更せよとは言わないが、「世界一流の文化と美を体験・創造し発信する公園」など、文言としてもう少し目線の高いものを入れていただきたい。「目指しているものが、ただの文化と美なのか。」となってしまう。「そうではない。世界一流の文化と美なんだ。」と、強調する必要がある。

「はじめに（案）」の中段に「万博機構に感謝の意を捧げたい」旨の部分があるが、　　　「太陽の塔」について言及した方がよいと思う。

この審議会では、「太陽の塔」の改修について、岡本太郎氏の作品を良好な状態で後世　　に引き継ぐべきだとして、耐震工事は早急に実施すべしとの結論を出した。その結果、　　府におかれては工事に着手することとされた。整備される「太陽の塔」を活用しながら、文化財登録や世界遺産登録を目指すといった事項を具体的に記載すべき。

次に４８ページ。事業者誘致の部分にも「目線の高さ」を入れていただきたい。世界　　一流のアートや美、そして、文化の誘致によりそのような体験ができるなど、　　　　　　消えかかっている「目線の高さ」を復活させていただきたい。

次に５４ページ。以前、将来ビジョンに会計的考察を入れようという議論があった。　　短期、中期、長期でのビジョンが見えてきたので、現状の収支バランスがそれぞれの　　　単位でどのように変化していくのか、どのような会計を目指すのか、いう議論があってもよいのではないか。それが案でもよい。

**小泉専門委員**

世界から人が集まる公園を目指すということを、まず、第一に考えていただきたい。　　そうすると、地域の公園としても非常に充実したものになると思う。

公園北側に出入口を作る。北側に入口を作るということが、資料上どこにも掲載されていない。今後、健康増進というテーマで活動するのであれば、阪大病院とのつながりが　　重要となる。人の流れを確保するよう、大阪モノレール「阪大病院前」駅とのつながりを考えることが必要。

現状、公園は南側から入って南側に戻るという形になっている。北側にそのまま抜けることになると、利用者にとって使いやすい公園になる。物理的な形を整理するということはあってもよいのではないか。

パークレンジャーについて、レンジャーというと、英語で発信した時に「見回って監視する」「警備する」というイメージがどうしても入ってしまう。プロフェッショナルな　　公園の専門家をつくるイメージとずれる気がする。本当の専門家でリーダー的な存在で　あって、主体性を持って人材を養成していくということであれば、ネーミングをもう少し考える必要があるのではないか。

以前の審議会資料では「未来を見据えた創造性を高める機能の追加」という項目が　　あった。私は、非常に重要であると思う。創造性を高める、創造性を創る、創造性を創造するという考え方は、特に、スタンフォード大学やＭＩＴ（マサチューセッツ工科大学）などで広がりを見せており、最先端の考え方であると思う。そういったところで中心に　なってきたのは、アイディオというデザイン会社を創ったデイビット・ケリー。　　　　　コンピューターのアップル社を支えてきた方である。万博公園で創造性を創ることが　　始まるのは、素晴らしいこと。

また、「太陽の塔」について、世界遺産登録を目指すのは大変結構なこと。しかし、　　　世界的に見れば、岡本太郎氏や「太陽の塔」は知名度が非常に低い。それ１本で行くのは可能であるが、難しいところもあるかもしれない。それを補助的に、さらに岡本太郎氏の「太陽の塔」に関連した何かをアートオブジェなどを集中させることで価値を高めることができるのではないか。そのようなことも考える必要がある。

**橋爪専門委員**

１０ページの「４．各施設の現状と課題」では「外国人観光客も少なく、外国人の集客も視野に入れた整備を行うことが必要である」と記載されている。一方、１９ページでは「国際的名所となることも視野に入れ、国際的な集客力のある公園となることが期待　　される」と客観的に記載されている。

前段の問題提起に対して、後段の具体的な事業の展開部分の書きぶりが弱い。多言語　対応が前段に記載されているが、それは来られた方への対応であって、多くの観光客を　　外から呼び込むといったことを謳わなければいけない。もっと後段で強く表現されるべき。

「太陽の塔」の世界遺産登録、大阪万博５０周年のイベント、広域規模のスポーツ大会の開催など、全体的に国際的なインバウンドを呼び込むということをもっと強く打ち出さなければ、世界的な名所とはならない。

ヴィスタについては、大阪万博の時の会場設計でいえば「太陽の塔」からエキスポ　　　タワーに向けて軸線があった。万博公園におけるヴィスタの最も素晴らしいところは、　エキスポタワーのあった高台。あの前には大阪万博会場建設工事の際にお亡くなりに　　なった方の慰霊碑がある。あの場所から見晴らすということは、メモリアルの上で非常に重要。

公園南側におけるヴィスタについては、２５ページではプログラムの拠点として当該　部分に印が付されている。ビューポイントであり、図で表示される時は意識されている　のかと思うが、将来ビジョン文中にはそれが現れていない。

ＥＸＰＯ’７０パビリオン（旧鉄鋼館）について、「太陽の塔」が世界遺産登録を　　　　目指すのであれば、当該建物も大阪万博当時から残されているものなので、同様の取扱いがなされるべきだと思う。３９ページには「太陽の塔は将来的には文化財登録および　　世界遺産を目指す」と記載されているが、「太陽の塔」だけでなく、ＥＸＰＯ’７０　　　　パビリオンも記載すべき。その際、同館で展示されている数多くの資料も当然文化財登録の対象になるものだと思うので、文化庁にもご検討いただくべきものだと考える。私と　しては、ＥＸＰＯ’７０パビリオンに関する記述がないのは残念。

**中谷委員**

「世界に誇る」を将来ビジョンにどのように反映させるのか。内容が詰まっていくと、逆に特色がぼやけてくる。

交通改善策について、前回の会議から変わった点を教えていただきたい。

**更家部会長**

４６ページ、４７ページ付近に駐車場整備の考え方が記載されている。現在の日本庭園前駐車場については、ヴィスタを通すことになるので支障が出るという問題がある。

仮に、地下に設置するとしても、多額の経費を要するという課題があるが、研究すべき。公園の真ん中まで車で乗り付けることができる駐車場は利便性が高い。駐車場については、考察なり開発方向の可能性なり、少し記載した方が、将来の研究課題が明確になると思う。

３４ページには「日本庭園『八景』の設定」という具体的な提案がなされている。なぜ八景なのか、唐突な感じがする。八景でもって、世界の人々が来てくれるのか。それだけの魅力が世界的なレベルで構築できるのか。日本庭園は世界へ発信する万博公園の魅力の一つではあるが、それに耐えうる魅力度を八景で出していけるのか。八景以外の考え方はないのか。そういったところも残しながら、議論しなければならない。

会計的考察について私が申し上げているのは、収支計画表と資産の移動、それが　　　どのような形に推移していくのか。それをできるだけ掲載していただいた方がよいのでは　　ないか。事業計画として変更があったとしても、ガイドラインとしてわかりやすいのではないかということ。

このような基本的なコンセプトはラフなもので十分。土地の有効活用を図って公園を　整備していくという方向があるのだから、それに対する数字が必要。民間企業では普通のこと。これはやっておかなければ、説得力が弱い。

目標、目途がないと事業者誘致もできない。不確定要素があるにせよ、その前提となる条件設定やどこまで広げていくのかいう話があるわけだから、その議論は理想と現実を　埋めていく作業が必要となる。その責任は免れるものではない。

審議会としても常識的な線というものがある。中央駐車場の部分だけでも活用すれば　どれくらいの賃料収入があるのかなど、ある程度記載できるのではないか。

不確定な部分については、「収入が入れば」という前提でしか書けない。ある条件の　　もとに「仮定はこれです」とまとめていただいた方がわかりやすい。

不動産活用における収入、来園者の収入、寄附金もあるが過度に期待することは　　　できないので、プラスアルファ程度で見込まなければならない。

そのような収入見込に対して、どれだけコストをかけて広報活動を行っていくのか、　大まかに何千万円単位で見込むなど、裏付けという意味では、そのような形の方がわかりやすい。

**事務局**

難しいのは、事業者誘致による収入見込。

**更家部会長**

以前、堺屋太一先生から「万博公園には多額の資産があるのに、それが活用できて　　　いない。」というご指摘があった。

ある程度目標を上げないといけない。「出たとこ勝負」では理屈が通らない。やって　　みなければわからないところはあるが、その努力の想定について、「５億円くらいの収入が必要」や「１０億円の収入が見込まれる」など、次の目標策定時に具体的に詰めていく中で議論していけばどうか。

それを答申につけておかないと、経済人の立場で審議会委員をお受けしている　　　　私としても困る。夢の部分だけを語ってもいけない。大まかなもの、千万円単位でよい　　ので、数字の動きは目標として持っておくべき。目標があれば、そこには必ず数字がある。

**事務局**

承知しました。

**更家部会長**

ヴィスタについて、もう少し議論させていただきたい。

**橋爪専門委員**

今年パリで一番話題になったのが、ブローニュの森にルイ・ヴィトンの美術館が　　　オープンしたこと。それにより美術館のある庭園の価値が上がったと思う。

５年後、１０年後、２０年後に、大きな企業がここに立地したいとか、国家プロ　　　　ジェクトを打ち出された時に、万博公園に誘致する余地が必要。世界的な名所になろう　　としているのであれば、先ほどの美術館のような可能性が出たら臨機応変に対応する。　スポーツでも、将来的に世界的な大会開催の話があればどんどん誘致するというような、そういう迫力を含めて、将来ビジョンの後段部分に強く頭出しをしていただきたい。

その一つが公園南側の高台。大阪城の真北に「太陽の塔」は位置している。最初から　　そのような設計なので、大阪城天守閣と「太陽の塔」はツインタワーみたいなものだと　　言ってもよいくらい。そのようなことが今まで全く謳われてきていなかった。

ぜひ、世界的な名所とはどういうものなのか。それを我々は目指すんだということを、将来ビジョンの後段部分で出していただきたい。

**事務局**

６０ページの図の下部には、ヴィスタの南側に大阪城がある旨は記載しているが、将来ビジョン本文にはそのような記載がない。ご指摘を踏まえ、検討してまいりたい。

**更家部会長**

以前の部会で、ゲートをいくつか設けて利便性を上げながら、ＩＣＯＣＡ（イコカ）　　でも公園に入場できるような取組みをすればどうか、という話があった。利便性を向上　させる努力が必要。

**小泉専門委員**

そのことは、地域住民との関係においても非常に重要。セントラルパークとの比較に　おいて、万博公園と異なるところは、セントラルパークの財源の７５パーセントは、寄附であるところ。そのうちの７割は個人からの寄附。私は、アメリカの寄附文化の根底には、人々がアイデンティティーを持ち、自分達の公園だと思うところにあると思う。

セントラルパークの場合、なぜそうなるのかというと、出入口がたくさん設けられて　いて、どの方向からも縦横に道があって自由に出入りできる。その開放感があると思う。

万博公園の場合、一番の問題はそこではないか。出入口が少ない。日本庭園では出入口が１箇所しかない。東西に長い公園に出入口が１箇所しかなければ、入場して周遊して　退場するのも非常に苦労する。体力も必要。オープン性を考えていただきたい。

出入口について、現在の情報通信技術は発達しているので、それをうまく使うと、楽になるし、経費も抑えられるのではないか。

万博公園の駐車場について私がよく耳にする不満は、日額制であること。時間制を導入すれば、入場者数は増加するのではないか。入場者の増加は駐車場収入の増加に繋がる。

**更家部会長**

車で公園へのアクセスがよくなれば、駐車場の利用はさらに増加すると思う。時間制の導入についてシミュレーションすべき。駐車場は大きな問題なので、将来ビジョンに入れていただくとありがたい。

**事務局**

万博公園には東地区、西地区等複数の駐車場があるが、基本的に駐車場と公園出入口はセットになっている。しかし、公園北側からの来場者には、北側に駐車場がないので　　　ご不便をおかけしている。これはこの公園の欠点と言わざるを得ない。

機械更新時におけるＩＣカードの導入など、現在調査を始めているところなので、　　将来ビジョンにそれを書き込むことはできる。出入口について言えば、北側の日本庭園の部分は、引き続き大阪大学や近隣の方々と調整をしながら検討するという書き方に　　　ならざるを得ないと思う。

出入口を多く設置するというよりも、既存の出入口がより機能的なものとなるよう検討作業をしているので、それを明記していきたい。

**小泉専門委員**

アートについて、自然文化園には「森の舞台」がある。民博のすぐ手前には、モダン　　　アートが少し展示してある。「太陽の塔」のそばには芸術の森がある。しかし、来園者には歩くのに邪魔になると受け止められているようだ。もっと集中的で輝かしいものに　　しないといけない。

**更家部会長**

こうしたものは「目玉」となる。来園者もそれを見に来る。「目玉」が必要ではないか。

**小泉専門委員**

私は、万博公園の「目玉」は、まさに「太陽の塔」であると思う。あの空間を中心と　　　　して組織的に考えていく必要がある。

**橋爪専門委員**

将来ビジョンに具体的にどう書くのかということはさておき、考え方として、例えば、ハリウッドメジャー映画のロケをここでやると「太陽の塔」が世界的に有名になるとか、新しい外車の発表会場を主催者が探していたとすれば、「万博公園でやってくださいよ」と売り込む。

それによって、「場所の価値が上がる」というようなレベルの書きぶりが欲しい。　　　マインドとして、いろんなアートを置くというのではなくて、全体として公園の価値を　高めるのに、文化という手段が必要ということだと思う。

**小泉専門委員**

私も同感。それが、先ほどの創造性を創ると繋がっていくと思う。市民レベルが単に　　何かをやっているというのではなく、最高のアートに結びつくようなデザインであるなどといったものが欲しい。

イベントとしては、世界的なデザイナーが来るとか、ワークショップが開催されるとか、そのようなものを利用して活性化する。そうすると、世界の中心になっていくと思う。

**中谷委員**

私は、将来ビジョンの内容としては高まってきている気がする。

しかし、大阪らしさ、インパクトのようなもの。目玉は「太陽の塔」かと思うが、　　　　大阪発というものがあってもよいのではないか。このプロジェクトを皮切りにこれが　　始まったというものが、もう一発ほしい。今の内容では総花的。

**更家部会長**

「はじめに」の「今後、府民をはじめ国内外の人々から深く永く愛される公園として　　大阪府において整備されていかれることを期待して」という部分について、もう少し　　具体的なものを入れられないか。

例えば、世界に誇る公園として整備を進め、２０２０年の万博５０周年、さらに、それに続く国際的なイベントを実施することにより、公園の価値が高まり、内外の方から、　　深く永く愛されるように、ということを入れていただくと、審議会として、まずは　　　　５０周年を目指して２０２０年をひとつのターゲットとして整備していこうという　　方向感が出る。

第２の大阪万博のことは書かなくても、大規模なイベントを誘致することによって、　公園の価値や認知度は上がる。

**橋爪専門委員**

私の思いで言えば、５６ページのＢＭＰ（ブランド・マネジメント・パートナーズ）は画期的な取組みである。

ニューヨークのブライトンパークでは、周辺の地権者から税を集めて１０億円程度の　規模で事業を実施し、公園の利活用で収益を上げていると聞いている。ＢＩＤ（Business Improvement District）という手法であるが、日本では法律が整備されていないので、　　採り入れることはできない。しかし、それに変わる形でＢＭＰという日本で初めてとなる組織の提案をされている。ここをぜひ、前面に押し出していただきたい。そして、先行　　モデルになっていただきたい。

**更家部会長**

「はじめに」の部分にも、ＢＭＰ等の画期的、従来日本になかった手法も採り入れる　　ことにより、持続可能な運営を目指すといった記載をすれば、わかりやいと思う。　　　　強調した方が、ねらいがはっきりしてよい。

**小泉専門委員**

大阪日本民芸館については、どうしてもターゲットが狭くなるような気がする。　　　もう一息つながりをつけて、工芸の方に広げればどうか。日本が世界に対してはっきりと誇れるのは、工芸だと思う。民芸だけではアピールするのに限界があるように思える。

日本で生み出されている様々な工芸を核にして引き寄せていくと、世界的にアピール　できるのではないか。世界が驚くものにできる気がする。デザインや創造性といったものに結びついていくのではないか。

**更家部会長**

「大阪日本民芸館の活性化」の部分に書きますか。

**小泉専門委員**

何らかの形で工芸という言葉を入れておいていただくと、後の事業展開がやりやすいのではないか。

**共同企業体**

かしこまりました。

**小泉専門委員**

民芸だけではローカル性が強すぎると思う。しかし、世界的にあまり知られていなくても、間違いなく世界一であるというものがたくさんある。

**更家部会長**

そういうものを誘致するという考え方もある。シンボルゾーンの整備については、　　　基本的な考え方として、世界の方に来ていただくものに。その辺りについて、もう少し表現を厚くするなり、ヴィスタだけでなく、シンボルゾーンというものの魅力アップについて　書き加えていただく方がよいかもしれない。世界から来られた皆さんが見れるゾーンに　　仕上げていくという意味で強調できると思う。

**事務局**

３８ページにヴィスタ、３９ページにはシンボルイヤーに向けた機能強化、この辺りに、今仰られたことを書いていくことになると思う。

**小泉専門委員**

旧国際児童文学館の活用について、ものづくり、ファブラボ、デザインなどといった　　方向性を考えておられるのか。それとも、現時点における一案なのか。

**更家部会長**

同館をリニューアルして、日本の美を体験しながらものづくりを行う人を育成する場所にするという話。

**小泉専門委員**

ものづくりという意義が非常に広くなるので、企業のデザインという部分にも結びつくのではないかと思う。企業にとってデザインは非常に大事なもの。人の隠れた創造性や　引っ張り出すという意味での人材育成。単にものを造るだけではなくて、そういう新しい場になる可能性はあるという気はする。

**共同企業体**

書き方も含め、検討いたします。

**更家部会長**

オールラウンドな隙のない将来ビジョンであるが、隙のない分だけとんがった特徴が　ない気がする。世界に発信するという志の高いところだけは、ぜひ入れておいていただきたい。

**橋爪専門委員**

大阪日本民芸館は、民芸の再評価を世界に打ち出すことが元々とのミッションであった。絶えず、大阪万博の時の理念や志に立ち戻れば、世界的な志になっているはず。絶えず、１９７０年の原点に戻っていただきたい。

**更家部会長**

そのとおり。民芸の部分も、単なる表現だけでなくて、大阪万博の時は、そのような志があった。発展させなければならない。そういうミッションを入れていただきたい。

事務局さん、本日のご議論を踏まえた修正を早めに仕上げていただき、委員の皆さま　からご意見があれば集約し、それを最終審議できるようにまとめていただけますか。　　年内を目途にお願いします。

**事務局**

承知しました。会長はじめ、ご欠席されている方も含め委員の皆さまに年内にご覧いただくようにさせていただきたいと思います。

**更家部会長**

１月２２日の審議会が最終となるので、そこでお諮りしたい。その間の文言調整は、　　私にご一任いただいて、それを中心に皆さまからご意見をいただくということで、最終の審議会に臨みたい。よろしくお願いいたします。

**小泉専門委員**

パークレンジャーのネーミングは、変更できないのか。

**共同企業体**

ネーミングは検討させていただきます。

**更家部会長**

プロが中心となって、ボランティアの方を組織し、引っ張っていただく、技術移転していただく、そういうイメージのネーミングですね。

それでは、以上で本日の意見交換会を終了させていただく。本日はありがとうござい　　ました。

以　　上